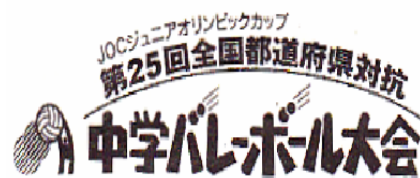


選抜通信



第11号 平成23年11月30日(水)

初心に戻って

当たり前のことを確認します。

- ① 声を出す ② 考えてプレーする ③ 粘り強い試合をする



今、どれだけこのことを守っていますか？負けたセットや様子の悪かったセットを思い返すと、こういう事が全然できていません。同じようにプレーしていても、頭の中や気持ちが違えば結果は変わってきます。香川でも言いましたが、ラリー中にお互いに声をかけることで、ボールの繋がりには良くなるし、微妙なコントロールが可能になってきます。黙ってやっていると、欲しいボールが来なかったり、反応が少し遅れたり、安心してプレーできなかつたりします。その結果、コンビが合わなかつたり、簡単なボールが落ちたりするのでしょうか。勝てるはずのチームに苦戦するのはそういう理由です。味方が味方になっていないのです。それぞれの能力は高くても、バラバラでプレーしていれば、かみ合わないのは当然です。

試合中・ラリー中にどれだけ声かけられるかが今後の勝敗に大きく関わってくると思ってください。予選の相手も決まりましたが、敵は山梨や鹿児島ではなく、自分たちの中にいます。

上達しました

とは言うものの、しっかりと上達している部分もいろいろあります。特に目立ってきた成長株を挙げてみましょう。

① 村田くんのスパイク

いいコースに良く決まるようになりました。

② 武知くんのブロック

以前より形やタイミングも良くなり、点数が取れるようになりました。

③ 小林空くんのスパイク・ブロック

ポジション変えてから、よく点数を取れるようになりました。

④ 稲葉くんの速攻

強打だけでなく、フェイントの仕方が上手くなりました。得点も増えています。

⑤ 片野坂くんの時間差・守備

工夫した入り方でうまくブロックをかわしています。守備でも好プレーが増えています。



もちろん、他の選手も上達しています。今後、たくさん紹介できるように頑張ってください。